認定看護師等による出前研修　受講アンケート調査結果

令和８年10月７日（水）14:00～15:00
特別養護老人ホームえびす
研修メニュー：救急看護

1　あなたの職種は？

職種	人数
看護師	1
介護職	6
その他	2
計	9

※その他(CM、相談員)

2　研修内容は？

満足度	人数
満足できた	8
まあまあ満足できた	1
満足できなかった	0

理解度	人数
理解できた	7
まあまあ理解できた	1
難しかった	1

役立ち度	人数
役立つ	9
役立たない	0
わからない	0

3　今後、学びたい研修は？
（複数回答あり）

テーマ	人数
感染管理	2
皮膚・排泄ケア	5
摂食・嚥下障害看護	3
認知症看護	5
緩和ケア	1
救急看護	0
その他	0

※その他

◆受講者の主な意見、感想など◆

〇研修内容

・救急の知識を得ることができてよかった。資料も理解しやすく説明もわかりやすかった。記載されていないこともわかりやすく補足してくださりとても充実した研修だった。

・小さな気づきを自分だけに納めないことの大切さを再認識できた。日々のケアに役立つ。

・急変や体調不良はつきものであり、かといって検査・治療が受けられる状況でもないため、受診に正しくつなげる力を持つことはとても重要。学んだことを活かしていきたい。

・異常を捉えてもアセスメントに上手くつなげられなかったが、どんな情報収集を意識すればよいか理解できた。十分な情報から予測につなげられるよう活用していきたい。

・報告方法について新しく知ることができた（５Ｗ１Ｈ以外で）。演習があると実感しやすくてよかった。

・症状によって緊急性の高い・低いがあり、どちらも観察によって予防ができることなど勉強になった。観察でいち早く異変に気づくことができる。

・観察項目のポイントが詳細に説明されたので普段自分が気にかけていることと、今まで意識したことがないポイントが明確になり、今後のケアに活かしてたい。

・演習で他の職員の意見を共有するなど、新しい視点で観察できるようになりたいと思った。

・救急搬送時の連絡などわかりやすかった。利用者の変化を職員で共有し少しでも早く変化に気づけるようにしたい。

・救急を使わずに自分たちでできることや気づくこと、そのためのポイントやタイミングを学ぶことが出来てよかった。

・便や尿、日常動作などすべたが必要な項目だと感じた。五感を使った察知テクニックを活用していきたい。

・報告の仕方について、相手にうまく説明できるか不安になることがある。背景、経過等把握しなければ状況を伝えられないと感じた。努力したいと思う。I-SBAP-Cを意識したい

・急変させない早めの対応、医療と介護連携しながら家族への連絡・相談を早めに行えるようにしたい

〇その他意見、要望等

・施設に合わせた「急変のひとつ前段階気づき動く」ことを視点に取り入れた研修でとてもためになった。

・I-SBAP-C方法を学んで普段施設の看護師さんも同じように先生に報告していることに気づいた。

・自分の介護力を見直すいい機会だった。救急時も今日学んだ